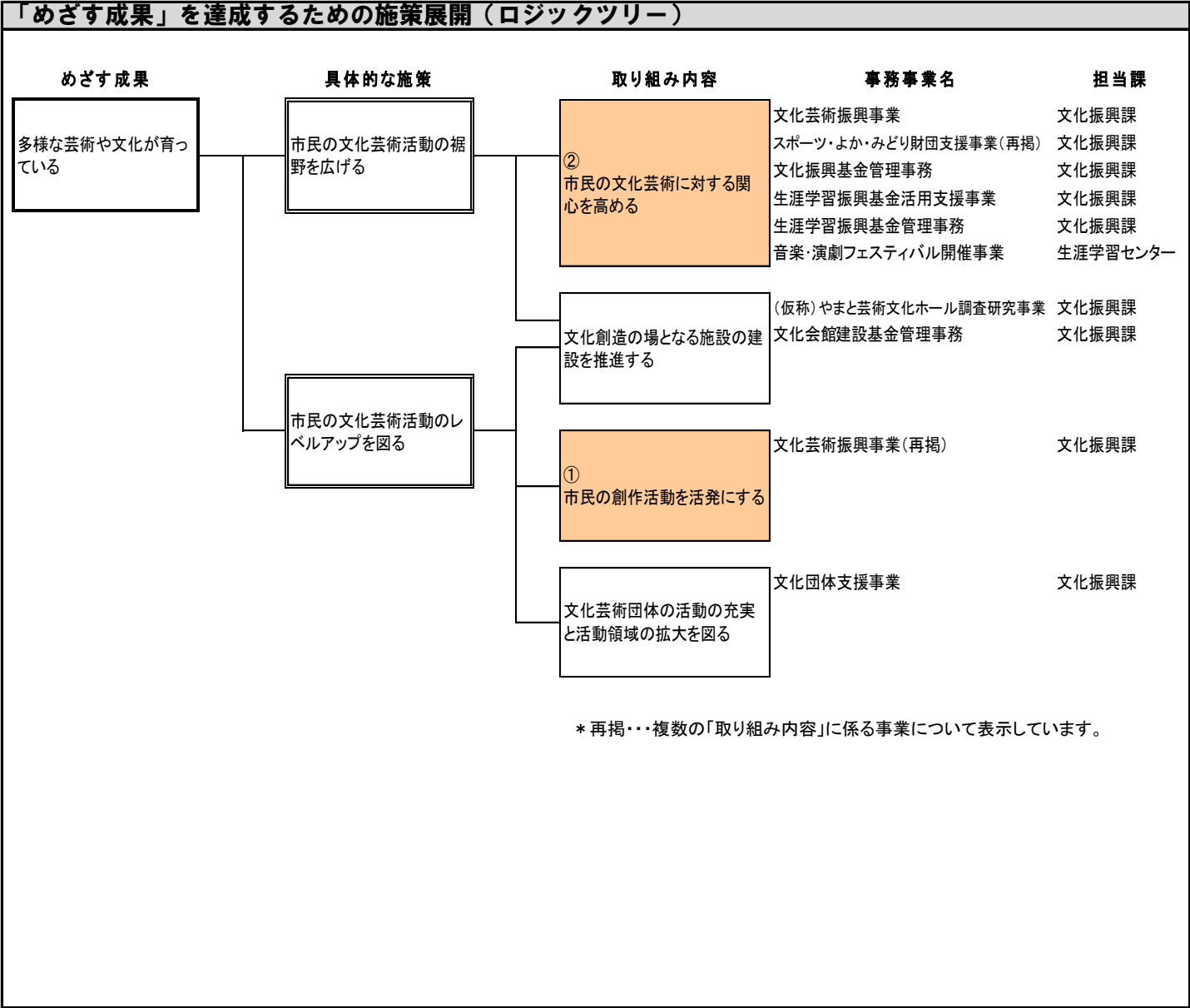


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6-2-1 多様な芸術や文化が育っている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	多様な芸術や文化が育っている 様々な分野の芸術、文化団体が組織されるなど、芸術、文化活動が活発に行われています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合		文化芸術（市主催・共催）来場者数	
計画策定時	36.6%	計画策定時	4,127人
現状値		現状値	
実績値（H21）	37.0%	実績値（H21）	2,536人
中間目標値（H23）		中間目標値（H23）	4,500人
目標値（H25）	38.0%	目標値（H25）	4,600人

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【市民の文化芸術活動の裾野を広げる】 平成21年12月に、本市の文化芸術振興に対する意思を明確にした大和市文化芸術振興条例を制定しました。今年度は、本条例の考えに基づき、文化芸術振興基本計画の策定作業を進めています。 ・文化芸術の拠点となる芸術文化ホールについて、平成21年度に再開発ビルの中に整備することが可能か調査を行いました。 ・市民の文化芸術に対する関心を高めるために、コミュニティ音楽館やまちかど落語などを開催しました。また、市民から提案された文化芸術等の振興、普及を図るための事業に対し、基金を活用して補助金を交付しました。
	【市民の文化芸術活動のレベルアップを図る】 ・市民の文化芸術作品を募集して、優れた作品を表彰する一般公募展（文化祭、文芸祭）を開催しました。また、市内で活動する団体同士の連携を促進するために、平成21年度に文化芸術連合会を設立しました。

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・本市の文化芸術が将来にわたって発展していくためには、担い手となる優秀な人材を確保する必要があり、今後は、担い手の発掘、育成という視点を重視した取り組みを充実していく必要があります。 ・文化祭については、出展者、来場者ともに固定化されている傾向にあるため、より多くの市民に開かれたイベントスタイルへの見直しを図る必要があります。 ・文化団体の運営に係る補助金は、限られた団体に交付されている状況にあるため、公平性の観点から整理を行う必要があります。
-------------------------	--

今後の展開方針		
注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案	・アーティストとして活動したい若い世代を対象に、発表活動の支援について、検討を行います。	（該当する事務事業） （仮）文化創造担い手育成事業
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	・文化団体の運営を支援する補助金のあり方について整理を行い、公平性を確保するための方策を検討していきます。	（該当する事務事業） 文化団体支援事業
その他見直し	・文化祭については、魅力的な文化イベントを複合的に実施するなど、来場者を増やすための方策を検討していきます。また、文化祭、文芸祭の一般公募展応募者の増加を目指し、募集要項の配布先などの見直しを進めます。	（該当する事務事業） 文化芸術振興事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	*平成24年度の審議予定となっています。